



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 東祥
コード番号 8920 URL <http://www.to-sho.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名 俊裕
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 桑添 直哉

TEL 0566-79-3111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,529	—	3,343	—	3,265	—	1,912	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,912百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	99.85	—
26年3月期第3四半期	—	—

(注) 当第3四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	34,541	15,192	44.0	793.20
26年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 15,192百万円 26年3月期 一百万円

(注) 当第3四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期期末配当金10.00円につきましては、東京証券取引所市場第一部及び名古屋証券取引所市場第一部指定の記念配当2.00円を含んでおります。

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	—	4,083	—	4,000	—	2,260	—	117.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) ABホテル株式会社、除外 1社 (社名)
 平成26年10月1日付で、当事業の一部について当社を分割会社、新設会社であるABホテル株式会社を承継会社とする会社分割を行っております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	19,157,500 株	26年3月期	19,157,500 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,563 株	26年3月期	3,089 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	19,154,103 株	26年3月期3Q	18,389,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成26年5月8日発表の「平成26年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」における業績予想は非連結のものでありましたが、当第3四半期より連結財務諸表を作成することに伴い、連結業績予想を作成しております。なお、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月8日に発表いたしました個別業績予想からの変更はありません。
- 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料の2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策による企業収益の改善、雇用環境の改善等により緩やかな回復基調にあるものの、一部では消費税増税前の駆け込み需要の反動から回復するまでには至っておらず、円安等により原材料等の輸入コストは増加しており、家計の負担感は強まっている状況が続いております。

こうした経済環境のもとで、平成26年10月より当社を核とした東祥グループを形成いたしました。当社グループの主力事業であるスポーツクラブ事業においては、「お客様の安全と健康を第一に考え、楽しく快適な場所」を提供できるよう既存店の更なるサービス、広告宣伝等の強化に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,529百万円、営業利益3,343百万円、経常利益3,265百万円、四半期純利益1,912百万円となりました。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業における当第3四半期連結会計期間末の店舗数は61店舗であり、新規開発6店舗のプロジェクトが進行中であります。当社が経営する「ホリデイスーツクラブ」におきましては、営業力強化を目的に新プログラムの開発、既存店のサウナ室改修、水垢等のクリーニング実施、また増加傾向にあった光熱費削減、環境、エコ対策を目的に空調設備改修費用として83百万円を投資いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のスポーツクラブ事業の売上高は10,029百万円となりました。

<ホテル事業>

ホテル事業におきましては、平成26年10月に当社のホテル事業を分社化しA Bホテル株式会社として新たなスタートを切りました。

ホテル事業における当第3四半期連結会計期間末の店舗数は8店舗であり、新規開発6店舗のプロジェクトが進行中であります。A Bホテル株式会社が運営する「A Bホテル」では、お客様が快眠できる部屋作りやサービスの充実、付帯設備として大浴場の設置を行うなど、お客様がひと時でも心休まる快適な空間の提供に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は1,439百万円となりました。

<不動産事業>

不動産事業における当第3四半期連結会計期間末の所有賃貸マンション部屋数は2,070室(50棟)であります。当社が経営する賃貸マンション「A・C i t y」では、満室経営となるよう入居者のニーズに合わせた室内設備の充実、入居者が安心して過ごせる住環境の整備に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は1,060百万円となりました。

(注) 当社は、当第3四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。従いまして当第3四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産額は34,541百万円となりました。主な資産は、現金及び預金5,400百万円、有形固定資産25,451百万円であります。

負債総額は19,348百万円であり、内訳は流動負債6,267百万円、固定負債13,081百万円であります。

純資産は15,192百万円であり、内訳は資本金1,580百万円、資本剰余金1,444百万円、利益剰余金12,171百万円等であります。

(注) 当社は、当第3四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。従いまして当第3四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月8日に発表いたしました今期の業績予想は非連結のものでありましたが、当第3四半期より連結財務諸表を作成することに伴い、連結業績予想を作成しておりますが、連結業績予想につきましては、個別業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年10月1日に新設分割により、A Bホテル株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成26年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,400,858
売掛金	58,374
営業未収入金	496,880
商品	3,650
貯蔵品	44,696
繰延税金資産	83,465
その他	207,706
貸倒引当金	△2,350
流動資産合計	6,293,283
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	30,294,003
減価償却累計額	△11,399,522
建物及び構築物(純額)	18,894,480
機械装置及び運搬具	831,210
減価償却累計額	△436,993
機械装置及び運搬具(純額)	394,216
工具、器具及び備品	808,656
減価償却累計額	△649,174
工具、器具及び備品(純額)	159,482
土地	3,513,407
リース資産	1,170,050
減価償却累計額	△172,754
リース資産(純額)	997,296
建設仮勘定	1,492,813
有形固定資産合計	25,451,697
無形固定資産	39,024
投資その他の資産	
繰延税金資産	507,655
その他	2,234,075
貸倒引当金	△12,600
投資その他の資産合計	2,729,130
固定資産合計	28,219,853
繰延資産	
株式交付費	4,051
社債発行費	24,286
繰延資産合計	28,337
資産合計	34,541,474

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成26年12月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,083
短期借入金	200,000
1年内償還予定の社債	701,200
1年内返済予定の長期借入金	2,696,762
未払法人税等	636,762
その他	2,031,387
流動負債合計	6,267,195
固定負債	
社債	1,790,600
長期借入金	8,459,707
リース債務	959,000
役員退職慰労引当金	929,680
資産除去債務	272,266
その他	670,042
固定負債合計	13,081,296
負債合計	19,348,492
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,580,817
資本剰余金	1,444,167
利益剰余金	12,171,788
自己株式	△3,792
株主資本合計	15,192,981
純資産合計	15,192,981
負債純資産合計	34,541,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	12,529,076
売上原価	8,143,690
売上総利益	4,385,385
販売費及び一般管理費	
役員報酬	231,934
その他	809,984
販売費及び一般管理費合計	1,041,919
営業利益	3,343,465
営業外収益	
受取利息	4,270
受取配当金	20
受取手数料	84,020
雑収入	16,625
営業外収益合計	104,937
営業外費用	
支払利息	132,152
雑損失	50,767
営業外費用合計	182,919
経常利益	3,265,483
特別利益	
固定資産売却益	6,984
特別利益合計	6,984
特別損失	
固定資産除却損	473
特別損失合計	473
税金等調整前四半期純利益	3,271,994
法人税、住民税及び事業税	1,336,585
法人税等調整額	22,689
法人税等合計	1,359,275
少数株主損益調整前四半期純利益	1,912,718
四半期純利益	1,912,718

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,912,718
四半期包括利益	1,912,718
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,912,718
少数株主に係る四半期包括利益	-

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため記載を省略しております。